

(変更3回、最終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和 8年 8月27日
契 約 業 者 名	株式会社木下建設
契 約 業 者 の 住 所	鳥取県境港市外江町2056番地1
工 事 の 名 称	境港外港昭和南地区岸壁(－12m)築造工事
工 事 場 所	境港外港昭和南地区、境港外港中野地区、境港外港竹内地区
工 事 種 別	港湾土木工事
工 事 概 要 (変更した内容)	別紙工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和 8年 1月28日
工 期 (至)	令和 8年 8月28日
変更前の契約金額	239,855,000円(税込み)
変 更 金 額	5,170,000円(税込み)
変更後の契約金額	245,025,000円(税込み)
変 更 理 由	別紙変更理由書のとおり

工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認対象数量ではない。

工事数量総括表

工 事 名	境港外港昭和南地区岸壁(-12m)築造工事(変更3回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増△減	摘 要	
岸壁(-12m)							
床掘工							
グラブ床掘工							
グラブ床掘	グラブ床掘	m3	9,231	9,058	▲ 173	1次撤去	
グラブ床掘	グラブ床掘	m3		原契約のとおり		1次撤去、能力低減あり	
土捨工							
土運船運搬工							
土運船運搬		m3	9,231	9,058	▲ 173	1次撤去	
土運船運搬		m3		原契約のとおり		1次撤去	
揚収物処分		式	0	1	1		
構造物撤去工							
撤去工							
石材撤去	石材撤去(積込・運搬・排出)	m3	}				
鋼矢板引抜	パイプロハンマ単独・海上施工	枚					
	パイプロハンマ単独・海上施工	枚					
鋼矢板運搬・仮置き	海上	枚					
鋼矢板(SP-50H)切断	陸上	枚					
かき殻処分	気中部ジョイント溶接部	枚	0	260	260		
		式	0	1	1		
雑工							
切断工							
鋼矢板切断		m		原契約のとおり			
共通仮設							
共通仮設費							
回航・えい航費							
回航	土運船	式	1	1	0		
事業損失防止施設費							
汚濁防止膜		式		原契約のとおり			
安全費							
標識	灯浮標	式	1	1	0		
安全対策	安全監視船	式	1	1	0		

工事数量総括表

工 事 名	境港外港昭和南地区岸壁(-12m)築造工事(変更3回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別		規 格	単 位	数量（前回）	数量（今回）	数量増△減	摘 要
水雷・傷害等保険料		グラブ浚渫船 土運船	式	}	原契約のとおり		
水雷保険料							
水雷保険料							
技術管理費			式				
技術管理費							
現場環境改善費			式	0	1	1	
快適トイレ							
測量業務							起工時：6,700m2、出来形時：4,100m2
ICT測量							
測量準備		式	0	1	1		
測量		式	0	1	1		
成果		式	0	1	1		

変更理由書

1. 工 事 名 境港外港昭和南地区岸壁(-12m)築造工事
2. 工 期 令和8年1月28日～令和8年8月28日
3. 請 負 金 額
- | | |
|------|--------------|
| 当 初 | 177,100,000円 |
| 変更1回 | 235,950,000円 |
| 変更2回 | 239,855,000円 |

4. 変 更 理 由

本業務は、境港外港昭和南地区岸壁(-12m)の床掘工、土捨工、構造物撤去工、雑工を施工するものであるが、今般、以下の理由により設計図書を変更する必要が生じた。

1) 起工・出来形測量の追加

受注者との協議の結果、ICT 施工管理モデル工事の実施内容が決定したため、起工・出来形測量を追加する。

2) 共通仮設：安全監視船配備隻数の変更

航行安全委員会の審議結果を踏まえ、昭和南地区の安全監視船配備隻数を1隻に変更する。

3) 床掘工：床掘土量の変更

起工測量の結果より求めた床掘土量について、一部基礎捨石の範囲を含んでいることが確認されたため、基礎捨石の数量を控除して数量を変更する。

4) 共通仮設：土運船回航費（復路）の計上

土運船の回航について、基地港への帰港が確認されたため、土運船の復路に係る回航費を計上する。

5) 構造物撤去工：鋼矢板固着箇所における切断の追加

撤去対象の鋼矢板の内、水上部が露出している鋼矢板において、隣接する鋼矢板同士の溶接及び腐食による固着が確認された。そのため、引抜前に固着箇所の切断を追加する。

6) 共通仮設：灯浮標入替及び灯色の変更

関係機関からの指導に基づき、中野地区の汚濁防止膜周囲に設置した灯浮標 2 基の位置入替及び灯浮標 1 基の灯色を黄色から赤色に変更する。

7) 共通仮設：灯浮標管理期間の変更

灯浮標管理期間が確定したため、管理期間の変更を行う。また、灯浮標(リース材)について、設置に必要な係留索が費用に含まれていないことが確認されたため、係留索の費用を計上する。

8) 共通仮設（現場環境改善費）：快適トイレに要する費用の追加

快適トイレの設置を確認したため、その費用を追加する。

9) 土捨工：揚収物処分費の計上

床掘施工中に土砂以外の異物（木くず等）が揚収されたため、処分に係る費用を計上する。

10) 構造物撤去工：かき殻処分費の計上

撤去した鋼矢板にはかき殻が付着しており、表面には不陸が生じていた。陸上での仮置きとなるため、不陸で積上高が高くなり仮置範囲が広がることの防止及びかき殻が付着した状態での保管による悪臭の防止のため、かき殻の除去を行った。除去したかき殻の処分費用を計上する。